

「道民家庭の日」絵画コンクール2021 入賞作品・講評

小学生の部

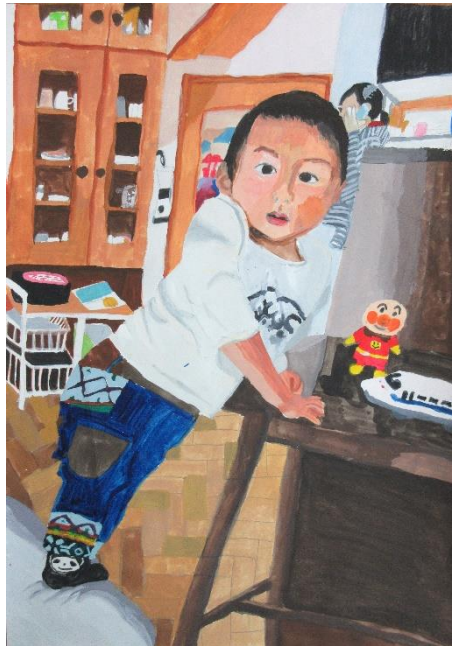
■最優秀賞（北海道知事賞）

旭川市立北光小学校 6年 片桐 颯希（かたぎり さつき）さん

題名：ステイホームでの弟の成長

講評

コロナ感染予防のため、家族でステイホームする日々。そんな中、弟の面倒をよくみていたのでしょう。弟のテーブルにつかまり立ちしながら歩く様子、真剣な表情をよくとらえています。大きく描くことでお姉さんの温かい視線が伝わる作品です。



■優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

北海道教育大学附属旭川小学校 1年 秋山 結菜（あきやま ゆな）さん

題名：海で大きなやどかりにあったよ

講評

家族で出かけた海での楽しいひとときが伝わります。

やどかりを見つけた私に、お父さんお母さんお姉さんだけでなく、魚もカニも一緒になって手をあげて喜んでくれています。

岩の配置と色が絵の表情を豊かにしています。



■優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

七飯町立大沼岳陽学校 3年 堀 尊ノ介（ほり とうのすけ）さん
題名：ジップラインを練習しているぼくと兄

講 評

ジップラインを仲良く兄弟で練習している様子を生き生きと表した作品です。ユニークな構図や色づかいが特徴的で、作品の魅力となっています。一瞬の動きを3年生らしい表現で、力強く表現しています。



■特別賞（キューピー賞）

今金町立今金小学校 5年 近藤 李莉（こんどう りり）さん
題名：外出自しゅくでおうちキャンプ！でもテントの中は笑顔でいっぱい

講 評

家族の笑顔と和やかな様子がとても伝わってきます。
すいか、メロン、ミニトマト、かぼちゃ等彩りが良く、野菜や果実が新鮮だと思わずほほが緩みますね。
野菜を届けてくれたおじいちゃんにありがとうの気持ちが伝わりますね。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

北海道教育大学附属釧路義務教育学校 1年 細川 慶伍（ほそかわ けいご）さん
題名：おいしかった！かそくで食べた弟子屈ラーメン

講 評

家族で食べに行ったラーメンはとてもおいしかったのでしょう。筆のスピード感ある描き方、詳しくどんぶりの中味を表現しているところから分かります。

勢いよく麺をすすっているお父さん等、家族一人一人の表情がとても豊かで楽しいですね。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

岩見沢市立中央小学校 2年 古志 優奈（こし ゆうな）さん
題名：ワクワクピクニック

講 評

外で食べる楽しさが、みんなの表情から伝わってきます。

楽しかった食事の様子が丁寧に描かれた、温かい気持ちになる作品です。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

北海道教育大学附属旭川小学校 3年 岡林 杏沙（わかばやし あずさ）さん
題名：お泊まり会 ～友達と作ったおいしいカレー～

講 評

楽しかったお泊まり会のワンシーンが描かれた作品です。

自分たちで作ったカレーを味わいながら5人でお話をしている様子が、素直に表現されています。

忘れられない夏の思い出となりましたね。



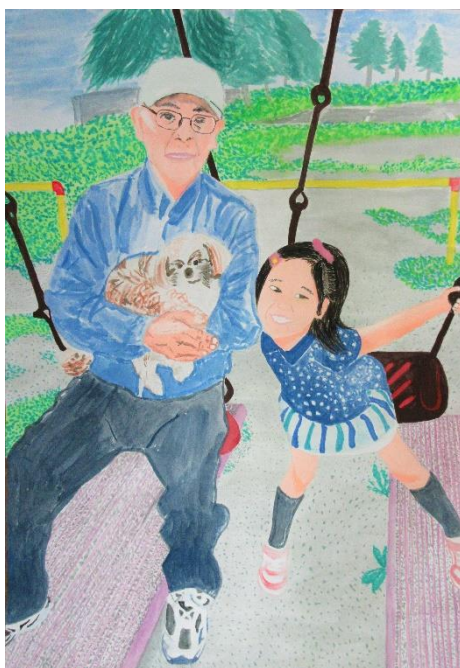
■最優秀賞（北海道知事賞）

釧路市立青陵中学校 3年 青木 美和（あおき みわ）さん

題名：もう一度戻りたいな

講 評

大好きなおじい様とすごした温かな思い出が表現された、心に残る作品です。
お二人の表情からお人柄や気持ちが強く伝わってきます。ブランコや身体の形を正確にとらえており、構成や色使いが秀逸です。



■優秀賞・特別賞（北海道教育委員会教育長賞・キューピー賞）

北斗市立浜分中学校 1年 前 安里（まえ あんり）さん

題名：「まっててね。今、できるから。」

講 評

甘い香りとワクワクしている気持ちがダイレクトに伝わってくる素敵な作品です。
デッサン力と構成力に優れていて、生き生きとした表情とともに、その楽しい時間や空間の雰囲気までも表現されています。



■優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

北斗市立浜分中学校 1年 渡辺 璃音（わたなべ りん）さん

題名：「親子でヨーイドん！」

講 評

運動会の親子競技で、ニワトリの面を被ったお父さんとヒヨコの帽子の子どもの記念写真。二人をアップで捉えた構図が大胆で、斜めになったお父さんが画面に動きを与えています。赤、青、黄、緑、白がバランス良く配置されていて、全体を明るくまとめています。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

士別市立朝日中学校 1年 河合 栞（かわあい もみじ）さん

題名：お兄ちゃん、私、猫の思い出

講 評

仲良し兄弟のあふれる笑顔が素敵で、見る人も幸せな気持ちになるような作品です。お兄ちゃんと遊んだり、猫と遊んだりした楽しい思い出が、パズルのようにたくさんあるのですね。その1ピース1ピースがかけがえのない宝物です。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

美幌町立美幌中学校 2年 阿閉 夕凜（あへい ゆりん）さん

題名：家族で過ごす休日

講 評

コロナ禍で“おうち時間”も長くなった今、ケーキ屋さんで選んだ美味しそうなケーキを家族で味わうことも、楽しみの一つとなりました。

「いただきまーす」の前にケーキと一緒に笑顔をパチリ。この日の思い出も、いつか家族のたからものになっていくことでしょう。



■優良賞（北海道青少年育成協会会長賞）

函館市立青柳中学校 3年 嶋山 弥桜（しまやま みお）さん

題名：1番暖かい場所、帰りたい場所

講 評

誕生から今日まで私を愛情いっぱいに育ててくれたお父さんとお母さん。今日、私は社会に出るための一歩を踏み出します。大変なこと苦しいことがあるかもしれないけれど、頑張ります。でも、どうしても辛くなったら、この家に帰ってきますね。

…そんな言葉が聞こえてきそうな温かな家族の風景です。

赤ちゃんの顔を思い出すお父さんお母さんの喜びも伝わります。

